

保護者等向け 評価表

公表日:

事業所名: 保育所等訪問支援 児童発達支援事業所みらいキッズ

対象人数(保護者)15人 回答者数9人 回収 60%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ
環境・ 体制整備	①	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	8	1	
	②	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	9		
	③	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	9		
	④	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	9		
	⑤	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員(職種や人数)体制だと思えますか。	9		
適切な 支援の 提供	⑥	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思えますか。	9		
	⑦	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画(個別支援計画)が作成されていると思えますか。	9		
	⑧	保育所等訪問支援計画(個別支援計画)には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思えますか。	8	1	
	⑨	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思えますか。	8	1	
	⑩	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思えますか。	8	1	
	⑪	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思えますか。	9		
保護者 への 説明等	⑫	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9		
	⑬	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9		
	⑭	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	8	1	
	⑮	必要ときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思えますか。	9		
	⑯	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9		
	⑰	事業所の職員から共感的に支援をされていると思えますか。	8	1	
	⑱	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9		
	⑲	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思えますか。	9		
	⑳	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思えますか。	9		
	㉑	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思えますか。	9		
	㉒	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思えますか。	9		
	㉓	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9		
	㉔	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思えますか。	9		
非常時 等の 対応	㉕	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思えますか。	9		
	㉖	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	9		
満足 度	㉗	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	9		
	㉘	事業所の支援に満足していますか。	9		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		みらいキッズ久留米		公表日		R7年 3月 10日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・ 体制・ 整備・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	2		教材を提供している（落ち着けるアイテム等）		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2				
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	2				
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。	2				
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	2				
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。	2				
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	2				
適切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	2				
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2				
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2				
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	2		保育所等訪問後は全体ミーティングで話し て情報の共有を図る。		
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	2				
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	2				
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	2				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている か。	2				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2				
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	2				
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	2					
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育 所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っ ているか。	2					

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2		
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2		
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2		保育所等訪問支援の資料を提供してみらいキッズでの療育の様子を伝えている。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2		
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	2		
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2		家族支援を行う
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2		
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2		
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2		
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2		
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2		
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2		
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2		
訪問先施設への説明等	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2		
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2		
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2		
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2		口頭で内容を伝えている。また園側、保護者にも書面で報告書提出している。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2		

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2			

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

R7年

3月

7日

みらいキッズ久留米(保育所等訪問)

利用児童数

7年

2月

13日

回収数10

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	8	2		分かりやすく教えてもらい、参考になる。写真付きで分かりやすく丁寧に助言してもらっている。丁寧に分かりやすい。	事業所の様子を写真付きの資料にまとめて提供することで、より明確になり伝わりやすいので今後も継続して行います。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	8	2		支援方法の視点が変わった。専門的な視点で子どもを見てあり子どもに合った支援を提案してもらっている。	行動の行動には全て意味があると考え、気になる行動など専門的な視点を踏まえ助言をさせていただきます。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	8	2		質問に丁寧に答えてくれる。しっかりと時間をとってみてくれるので、助かります。療育先の様子を細かく教えてもらい、質問にも適切に回答してもらっている。	現状の把握をして出来る限り助言できるように今後も継続して行います。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	5	4	1	アドバイスを取り入れて集団活動に参加できることが増えた。終わりがないので継続中です。支援グッズを試すが、効果があまりわからない。園での様子を見てもらうことで困り感や課題を共有できてい	課題や困りごとの情報共有をすることで、考え様々な視点で支援のアプローチができるように努めてまいります。
5	事業所からの支援に満足していますか。	7	1	1	家庭や事業所の様子を情報共有ができて良かった。直接指導している様子が見たい。高め合ってまいりたいと願っています。引き続きよろしく願います。助言をもらい大変満足している。	満足していただけるように常にアップデートをして情報共有・連携を図り、精進してまいります。
其他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
互いの子どもへの支援を分かち合い、園での子どもの姿を知っていただき園でも療育の様子を知ることで、また家庭での姿を知り、各々の場所での子どもの在り様の違いからそれぞれの場の働きの違いで見えてくることもへの理解が深まります。またそれぞれの場での役割から子どもを育むための要素も見えてきます。何よりも私達もそれぞれの個性を生かして協働させてください。通っていることで、園で落ち着いて過ごしているという実感はありません。園生活を基本とした上で援助、支援を行ってほしい。療育でも様子、療育でされていることを共有し園でも取り入れることができている。手押し車はクラスの周りを一周できるようになった。ゴルフボールを入れたネットを足に置いて、椅子に座る時間も少し長くなった。取り入れやすいことを提案してもらえるので、また次回、園でもできることがあればお聞きしたい。					様々なご意見ありがとうございます。子どもの集団での生活の困りごとや課題について、集団生活の中で過ごしやすくなるように訪問して一緒に考えさせていただきます。保育所や幼稚園などに直接訪問して発達支援が必要な子どもが安心して過ごせる環境を増やす、お手伝いを今後も継続して行います。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	みらいキッズ久留米		
○保護者評価実施期間	R6年12月16日		～ R6年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	R6年12月20日		～ R6年 12月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○訪問先施設評価実施期間	R7年 1月 27日		～ R7年 2月 12日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	10件	(回答数) 10件
○事業者向け自己評価表作成日	R6年 12月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動療法・成功体験・食育の3本柱で専門的な支援ができて いる。	室内だけでなく自然に触れ合い外出する中で、交通ルール、公 共施設でのマナーなどを体験できるように野外活動を積極的に 取り入れている。	他事業所との交流を行い対人関係スキルの向上につなげる。 またどのようなイベントを企画してほしいか保護者へのアン ケートを実施することで保護者のニーズにも出来る限り、寄 り添える体制を目指す。
2	家族支援や子育てサポート、関係機関との連携を定期的 に実施することで現状の把握や情報の共有が密に行いことが できている。	ご家族の困り感をそのままにせず家族支援などにつなげて 困り感の軽減・解消に努めている。	兄妹支援や家族、関係機関とのつながりを大切にできるイ ベントの企画や研修の場を提供して学びを深める取り組みを 目指す。
3	小集団で社会性の発達を促し、専門的支援を個別支援で行 い学習や手先の機能にアプローチすることができる。	理学療法士が在中しており、より専門的な支援がうけるこ とができる。また研修受講も積極的に取り組み知識や技術の向 上を行っている。	様々な研修や専門家の助言を取り入れて色々な視点で支援の 幅を広げることで子どもの特性理解から支援のアプローチも 広がるよう取り組む。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	中庭などがなく環境設備に限りがあり、月齢に合った運動量 の保証が課題だと思う。	保育所のような広い環境設備が整っていないこと。	活動や環境面を、個室の部屋と野外活動に月齢ごとに活動別 に分割して運動量を保障する。
2	児童発達支援事業所卒業後の移行先。	放課後等デイサービスとの繋がりが少ない。	放課後等デイサービスにアボをとり見学に出向くことで、保 護者に安心して移行先を紹介する。
3			